



岩手県ホームページでも
ご覧いただけます ▼



美しい 県土づくりNEWS

2024年

4月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第236号
令和6年4月26日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 令和6年度 県土整備部幹部職員の紹介
- 3 「岩手型住宅ガイドライン」の改訂について
- 5 松林地区の砂防堰堤工事が完成しました！
- 7 一般国道455号中里工区が供用開始しました！
- 8 令和6年能登半島地震からの
早期復旧に向けた被災地支援を行っています
- 10 令和6年度 岩手県職員採用試験
I種（大卒程度）受験申込 始まりました！

三陸復興

令和6年度 県土整備部 キャッチコピー
共に考え、描き、創る 我が県土
『明るく、楽しく、情熱を持って！』



令和6年度の県土整備部幹部職員

左から、
県土整備部
事例集等

菅原 道路担当技監	加藤 副部長 兼県土整備企画室長	上澤 県土整備部長	岩崎 技監 兼河川港湾担当技監	小野寺 まちづくり担当技監
職員募集案内 総合土木職	人口減少対策 子育て編	5か年加速化 対策 事例集	人口減少対策 社会減対策編	職員募集案内 建築職

令和6年度 県土整備部幹部職員を紹介

■ 県土整備部長 上澤 和哉 (かみさわ かずや)



県土整備部の業務は、近年、激甚化・頻発化する自然災害から県民の生命や財産を守り、また、産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備や維持管理であり、県民や地域の想いや願いを社会資本の整備を通じて、具現化する大切な仕事です。

「明るく、楽しく、情熱を持って！」業務に取り組んでいきたいと思えます。

基本は、心身の健康です。私自身は、週末に気持ちの良い汗を流せるよう適度な運動を心掛けます。

本年度も、岩建野球大会、県土整備部サッカー大会など、皆さんの元気なプレーと笑顔が楽しみです。宜しくお願いします。

■ 技監兼河川港湾担当技監 岩崎 等 (いわさき ひとし)



4月1日付けで、技監兼河川港湾担当技監を拝命しました。県土整備部の一員として、岩手県の安心・安全、さらなる発展のために頑張ります。

岩手県での勤務は初めてですが、東北地方整備局での勤務経験があり、公私ともに何度も訪れたことがある親しみのある地域です。さらに“岩手通”になるため、知る人ぞ知るお勧めスポット情報を絶賛募集中です。

よろしく願いいたします。

■ 副部長兼県土整備企画室長 加藤 真司 (かとう しんじ)



県土整備部は、はじめての勤務ですが、20数年前の児童家庭課でのこどもの森建設や、10数年前の総務室での増田前知事主導の入札改革など、思い返すと、県土の諸先輩方と一緒に働く中で、前向きな気持ちを忘れずに、仕事の楽しさを覚え、成長の喜びを知ることができました。

令和6年度のキャッチコピー「明るく、楽しく、情熱を持って」は、当部に根づく組織風土を改めて表したものだと思えます。その一助となるよう頑張ります。

■ 道路担当技監 菅原 常彦 (すがわら つねひこ)



今年度、道路担当技監を拝命しました。

私のモットーは、とにかく風通しの良い職場環境の構築。

個々の能力が高くて、風通しが良くなければスムーズな業務遂行はかたまりません。”風通しが良い職場環境に質の高い業務がついてくる”ともいえるでしょう。

今年度も部長室には良好な風が吹いています。遠慮なく部長室に足をお運びください！！

■ まちづくり担当技監 小野寺 哲志 (おのでら さとし)



今年度、まちづくり担当技監を拝命しました。岩手県の安心・安全を確保して、暮らし・働く方々が幸せを感じてもらえるよう頑張ります。

私たちを取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応しながら、常に前向きに「明るく、楽しく、情熱をもって！」業務に取り組みたいと思す。

明るく楽しい仕事は、健康とワークライフバランスの実現から始まると思いますので、まずは健康第一を心がけます。よろしく願いいたします。

「岩手型住宅ガイドライン」の改訂について

建築住宅課

岩手県では、「さらなる省エネ性能」を持ち、県産木材の活用などの「岩手らしさ」を推奨する「岩手型住宅ガイドライン」を令和6年3月に改訂しました。

1 改訂の概要

岩手県では、「岩手県住宅マスタープラン」における重要な施策として、岩手型住宅の普及促進を図っています。

このたび、平成20年のガイドライン策定以降のカーボンニュートラルに係る国等の動向や、健康寿命等の新しい知見を踏まえ、住宅の省エネ性能に「ZEH+」の水準を加えるとともに、住宅の気密性能や省エネ住宅の健康面等での効果の内容を盛り込みました。

2 対象 新築及びリフォームする一戸建て住宅

3 さらなる省エネ性能

(1) 望ましい省エネ性能

冬の寒さの厳しい岩手において、室内の暖かさを維持し、快適で健康的な生活を送るためには、より高い省エネ性能とすることが重要であり、これから求められる「さらなる省エネ性能」として、「断熱等性能等級6」をクリアする省エネ性能を設定します。

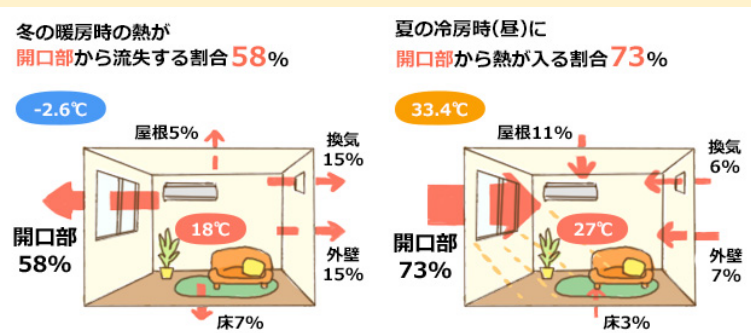
断熱等性能等級6、7（ZEH+の水準） 相当隙間面積C値1.0cm²/m²以下

(参考) 住宅の断熱のポイント

冬に快適な住宅を作るには、住宅全体を「高性能な断熱工法で包み」、室内から熱を逃がさないこと、また室内の表面温度を下げないことがポイントになります。

○ 開口部の「断熱」

住宅の断熱で重要なのが、開口部の断熱性能を高めることです。なかでも窓は、熱の出入りが大きいので、断熱上の重要なポイントとなります。



出典：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会ホームページ「Q&Aよくあるご質問 住宅用窓について」（平成11年省エネ基準レベルの断熱性能の住宅での試算例）https://www.kensankyo.org/syoene/qanda/mado/a_9.html

○ 住宅の「日射熱取得」

断熱性能の高い住宅では、冬の室温低下を抑えることができます。そこで、冬は、開口部の配置・仕様などを適切に計画することにより、上手に日射熱を取得することが重要です。

(2) 期待される効果

ア 健康面

- ① **冬の寒さ対策** 断熱性能が低く、住宅内に温度差がある家の場合、冬にヒートショックが発生するリスクがあり、このリスクを低減します。
- ② **体感温度の改善** 断熱性能が低いと室内表面温度が低くなります。室内の表面温度が高いと、室温が同じでも、体感温度としては暖かく感じます。
- ③ **結露の抑制効果** 断熱性を高めることで、冬季における結露の発生を抑制することができます。
- ④ **カビの抑制効果** 断熱性を高めることで、カビの生える壁表面の温度も上がり、結果的に湿度が下がり、カビが生えにくくなります。
- ⑤ **疾病有病率の改善** 過去に実施されたアンケート調査によって、住宅の断熱・気密性能を向上させることにより、疾病有病率が改善されるという結果が出ています。
- ⑥ **夏の暑さ対策** 断熱性能が高い住宅では、日射を適切に遮ることで、外の熱が家の中に入りやすく、室温上昇を抑えることができます。

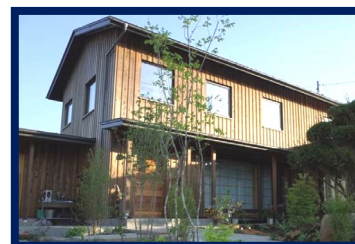
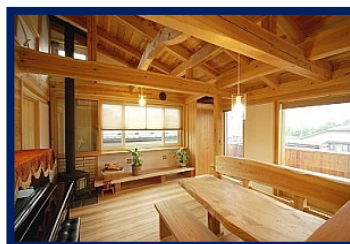
イ 光熱費等の削減効果

省エネ性能を高めると、冬季における暖房負荷を削減することができ、光熱費の削減につながります。

4 岩手らしさ

(1) 県産木材の活用

岩手の豊かで多様な森林資源を利用し、県内で割合の大きい木造住宅において、県産木材の活用を促進します。



(2) 地域性への配慮

空き家の有効活用や景観との調和など、地域の伝統を活かした住宅の普及を促進します。



(景観と調和した住宅)



(住み継がれる住宅)



(各地域独自の住宅)

「岩手型住宅ガイドライン 令和6年3月改訂」の全文は
岩手県ホームページでご覧ください。



<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/kenchiku/kojin/iwategata/1010274.html>

松林地区の砂防堰堤工事が

完成しました！！

沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

平成28年台風第10号豪雨により、松林地区において人家や町道に土砂が流出する被害がありました。このことを受けて、岩手県では、土砂災害による被害を軽減させることを目的として、松林地区で2箇所の砂防堰堤工事を行ってきた結果、令和6年3月の松林の沢(新)の完成をもって、全ての整備が無事に完了しました。

工事は令和2年10月に着手し、令和3年12月に松林の沢(4)砂防堰堤（堤長40.5m、高さ10.5m）が完成し、令和6年3月には松林の沢(新)（堤長34m、高さ8.5m）及び付替林道（延長576.7m）が完成しました。松林の沢(新)の付替林道工事における地山掘削では、想定していなかった非常に硬い岩盤が確認されたことから、発破（爆破）による掘削施工を行いました。

砂防堰堤などのハード整備は完成となりますが、防災学習などを通じて地域の防災力向上につながる取組を、今後も進めていきます。

～松林の沢(新) 堰堤完成状況～



～平成28年台風第10号による被害状況～

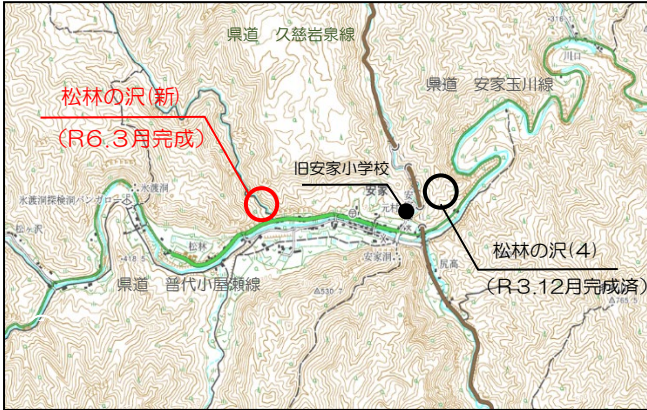
道路の状況



人家の被害状況



～ 位置図 ～



～ 松林の沢(4)砂防堰堤 完成状況 ～



完成 (R3.12月)

～付替林道完成状況 (松林の沢(新))～



① 削孔 (穿孔)

発破 (爆破) 掘削施工状況

② 装 薬



爆薬を詰める穴をあけている状況



あけた穴に爆薬等を詰めている状況
(「火薬類取締法」に則って、資格保有者が作業)

③ 結 線



導火線 (電線) により発破スイッチと接続

④ 発 破



発破スイッチを押して岩盤が破碎された状況
(発破5分前、1分前、発破終了時にサイレン鳴らし周囲に合図)

【地域連携道路整備事業】一般国道455号

中里工区が供用開始しました！！

沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

平成28年台風第10号の豪雨により被災した一般国道455号において、台風第10号と同等の豪雨が発生した場合でも、冠水せずに緊急輸送道路としての機能が確保されるよう整備を進めてきた中里工区が、令和6年3月26日に供用開始となりました。

当日は、施工業者主催のもと開通式を開催し、地権者や地域住民、岩泉町役場職員など約30人が出席し、開通をお祝いしました。

今後は、残った一部舗装工事や取付道路工事等を施工し、令和6年度内の一日も早い完成を目指し、事業を進めていきます。

一般国道455号 中里地区〔令和6年3月26日 供用開始〕

中里工区のルート



開通式典の様子



▲ 記念撮影の様子



▲ 供用開始後の様子

令和6年能登半島地震からの 早期復旧に向けた被災地支援を行っています

河川課

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で犠牲になられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。また、日夜復旧に向けて御尽力されている皆様に深く敬意を表します。

岩手県では、令和6年1月5日に「令和6年能登半島地震に係る岩手県応援本部」を設置し、DMATや職員の派遣等による支援を行っています。

県土整備部では、令和6年3月18日から2週間、土木職員1名を石川県七尾市に派遣しました。

能登半島地震について

令和6年1月1日16時10分頃、石川県能登地方を震源とする最大深度7の地震が発生し、多くの建物が倒壊したほか、津波による被害が発生しました。

地震の状況

	能登半島地震 (R6.1.1)	参考：東北地方太平洋沖地震 (H23.3.11)
震源地	石川県能登地方	三陸沖 (牡鹿半島の東南東約130km)
マグニチュード (Mw)	7.5	9.0
震源の深さ	約16km (暫定値)	約24km
最大震度	7 (石川県志賀町)	7 (宮城県栗原市)

被災地への職員派遣

【 岩手県庁での職員派遣出発式（3月15日） 】

派遣職員 河川課 田上技師が、「東日本大震災で全国からいただいた支援への感謝の思い忘れず、被災地に寄り添って支援したい」と決意を述べました。県土整備部長から、「災害復旧工事の支援は、被災地の一日も早い復旧・復興において重要な任務。これまでの経験を生かし頑張ってもらいたい」と激励がありました。



▲出発式（岩手県庁にて）

派遣体制

- ・派遣人数：岩手県県土整備部河川課1名、他県8名
- ・派遣期間：3月18日から29日まで（2週間）
- ・活動地域：中能登土木総合事務所（石川県七尾市）
- ・支援内容：河川災害復旧工事の査定・設計積算 等



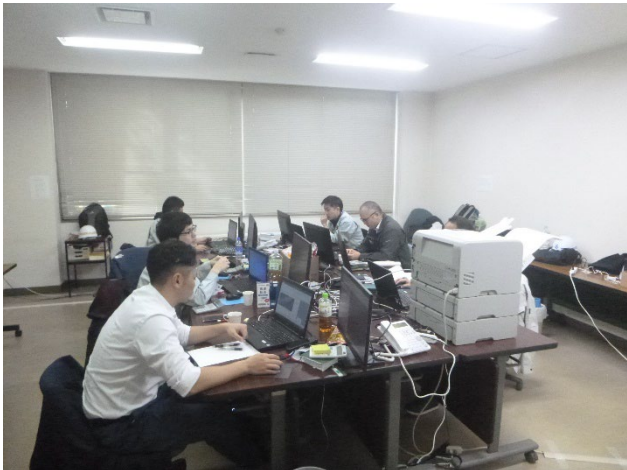
▲中能登土木総合事務所

現地の状況

地震の影響により、石川県の河川においては「土砂崩れによる河道の埋塞」や「護岸の転倒・亀裂」などの被害が発生しました。今回、これらの被災した河川施設の復旧のため、災害査定に向けた現場調査、測量、査定資料作成等の業務支援を行いました。

引き続き、現地では、他県等から派遣された多くの職員が、石川県の方々と共に早期復旧に向けて全力で取り組んでいます。

岩手県では、今後も全国知事会や県内市町村と連携しながら、被災地域を支援していきます。



▲執務室内での業務（災害査定資料作成等）の様子



▲土砂崩れにより河道が埋塞した河川（河内川）



▲災害査定に向けた被災現場調査、測量の様子（河内川）



▲災害査定に向けた起終点調査の様子（吉田川）



▲地震により沈下した港湾施設（七尾港）



▲他県からの応援メンバーと（宿泊先にて）

令和6年度 岩手県職員採用試験 (令和7年4月採用予定) I種 (大卒程度) 受験申込 始まりました!

※ 総合土木B 先行型の申込みは終了しています

…5月16日(木)17:15 まで



岩手県
Iwate Prefecture

おでんせ、いわて!

県土整備企画室

最新の情報は、[岩手県人事委員会事務局のホームページ](#)でご確認ください ▶▶▶▶



～岩手県県土整備部では岩手県の将来を担う技術系職員を募集しています～

Iwate Prefectural Staff Recruiting Guide 2024

岩手らしい幸せのカタチを 一緒につくっていきませんか?

岩手県の技術系職員【総合土木・建築】の募集案内情報をまとめたガイドブックを作成しました。岩手県県土整備部の業務にご興味のある方は、ぜひご覧ください。

総合土木



建築



※ 2 岩手県 県土整備部の仕事紹介! (土木職編)

※ 岩手県総合土木職アピールポイント

① デジタル技術で効率化 ② 事業や建設物の現場

デジタル技術を活用して、効率的な事業や建設現場を実現しています。また、建設現場でのデジタル技術の活用により、作業の効率化や安全管理の向上が期待されています。

建設現場でのデジタル技術の活用により、作業の効率化や安全管理の向上が期待されています。

岩手県では、東日本大震災以降からの復旧・復興事業を継続してまいりました。事業は、これまで以上に大きな規模のものが多く、経験したノウハウを生かして、復興後の事業にも取り組んでいます。

社会基盤の整備に際して、体系的にコーディネートしています。社会基盤整備においては、まず、事業を企画し、計画立案や調査を進め、どんなものを建設するか設計します。ここは主に建設関係のコンサルタント会社に任じて任せてもらっています。その後、設計された形状に合わせて用地を取得し、建設工事の発注に当たります。工事発注後、引き続き自らを維持管理していく必要があり、これらは主に建設会社に発注しています。

岩手県職員は、以上の一連の社会基盤整備にかかわること者として活躍しています。ニュータウン開発や、事業を立ち上げることもできます。

思いを形にし、地域を元気にするため、広い視野で立ち、地域に取り組んでいます。

※ 岩手県総合土木職アピールポイント

① デジタル技術で効率化 ② 事業や建設物の現場

デジタル技術を活用して、効率的な事業や建設現場を実現しています。また、建設現場でのデジタル技術の活用により、作業の効率化や安全管理の向上が期待されています。

建設現場でのデジタル技術の活用により、作業の効率化や安全管理の向上が期待されています。

岩手県では、東日本大震災以降からの復旧・復興事業を継続してまいりました。事業は、これまで以上に大きな規模のものが多く、経験したノウハウを生かして、復興後の事業にも取り組んでいます。

社会基盤の整備に際して、体系的にコーディネートしています。社会基盤整備においては、まず、事業を企画し、計画立案や調査を進め、どんなものを建設するか設計します。ここは主に建設関係のコンサルタント会社に任じて任せてもらっています。その後、設計された形状に合わせて用地を取得し、建設工事の発注に当たります。工事発注後、引き続き自らを維持管理していく必要があり、これらは主に建設会社に発注しています。

岩手県職員は、以上の一連の社会基盤整備にかかわること者として活躍しています。ニュータウン開発や、事業を立ち上げることもできます。

思いを形にし、地域を元気にするため、広い視野で立ち、地域に取り組んでいます。

※ 世界でいちばん幸せな県をつくらう。

～復興とその後～

世界でいちばん幸せな県をつくらう。

岩手県 県土整備部

令和6年(2024年)4月10日 時点版

※ 3 先輩に聞きました!

建築

県土整備部 建設技術担当課 島越 康貴 Shimakoshi Yasutaka 平成24年度採用

より良い建築からより良いまちへ

採用から現在までの所属

平成24年度～	盛岡広域広域農土木部 建築住宅建築指導課 技師	● とある1日のスケジュール	8:20 出勤、新聞チェック
平成26年度～	陸前高田市建設部建設課 住宅推進係 技師	8:30 メール、回覧文書の確認	9:00 地盤点検
平成28年度～	盛岡広域広域農土木部 建築住宅住宅課 技師	10:00 制度改正の資料収集	12:00 昼食、休憩
平成29年度～	建設部管理課 技師	13:00 課内打合せ	15:00 制度改正の検討
令和4年度～	県土整備部建設技術担当課 主任	17:30 退庁、保育園お迎え	
令和6年度～	建設部管理課 主任		

● 仕事内容

現在の仕事は、建築工事における構築基準や工事で使用される設備の改定、工事の完成検査等、建築工事における各種基準等に関する業務を中心に、建築に關する様々な業務を担当しています。前任地の建設部管理課では、庁舎や公舎に関する改修工事の計画決定から設計・監理、法定点検や維持管理業務等を行っていました。

前任地の建設部管理課では、庁舎や公舎に関する改修工事の計画決定から設計・監理、法定点検や維持管理業務等を行っていました。

● 県職員に志望した理由を教えてください。

現在の仕事は構築基準や技術基準といった建築そのものを扱う仕事ではありませんが、公共施設の向上や建設業界のDXや働き方改革の推進等、持続的発展に資する仕事だと考えます。また、業務内容は非常に多岐にわたるため、幅広い知識や経験を生かすことができるのではないかと考えています。

● 県職員になる前に身につけておいた方がよいと思うことを教えてください。

建築基準専門職ではありますが、建築関係法令に関する業務や、設計・工事に関する業務、都市計画課の業務、その他様々な分野の仕事内容が多岐にわたる知識や経験を生かすことができるのではないかと考えています。

私は、岩手県でより良い公共建築物を増やすことを一つの目標として、業務にあたっております。より良い建築が生まれるためには、特に建築に關する法的な制度設計が必要だと考えているので、建築が好きならにぜひ来てほしいと考えています。

令和6年(2024年)4月10日 時点版

世界でいちばん
幸せな県をつくらう。

令和6年度採用試験から
建築Ⅲ種が追加!
(申込みは7月1日から)